

図1 1単位を有する剤型の場合（錠剤、カプセル、坐剤等）

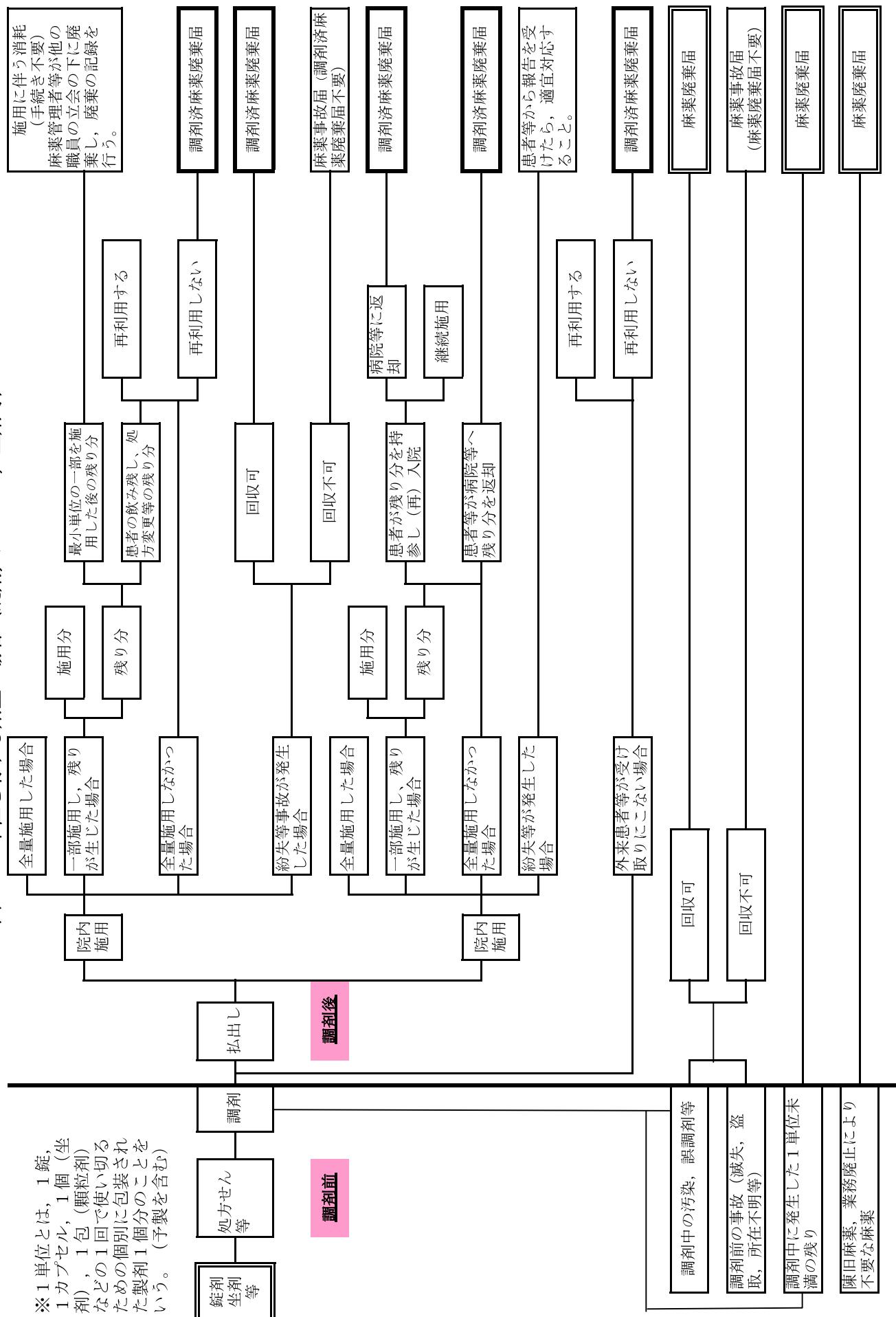


図2 院内施用の注射剤の場合

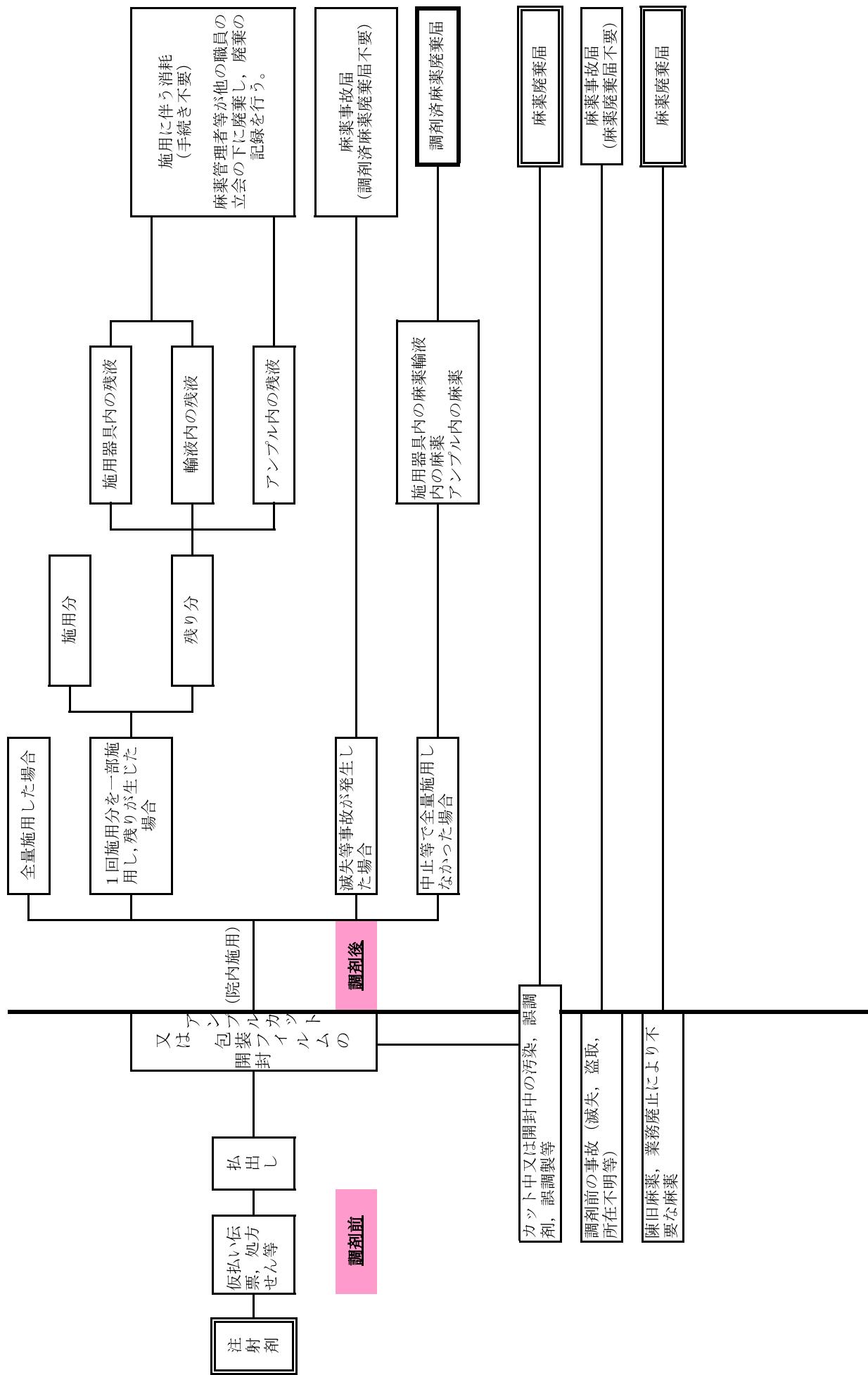


図3 院外施用の注射剤の場合（連続注入器等）

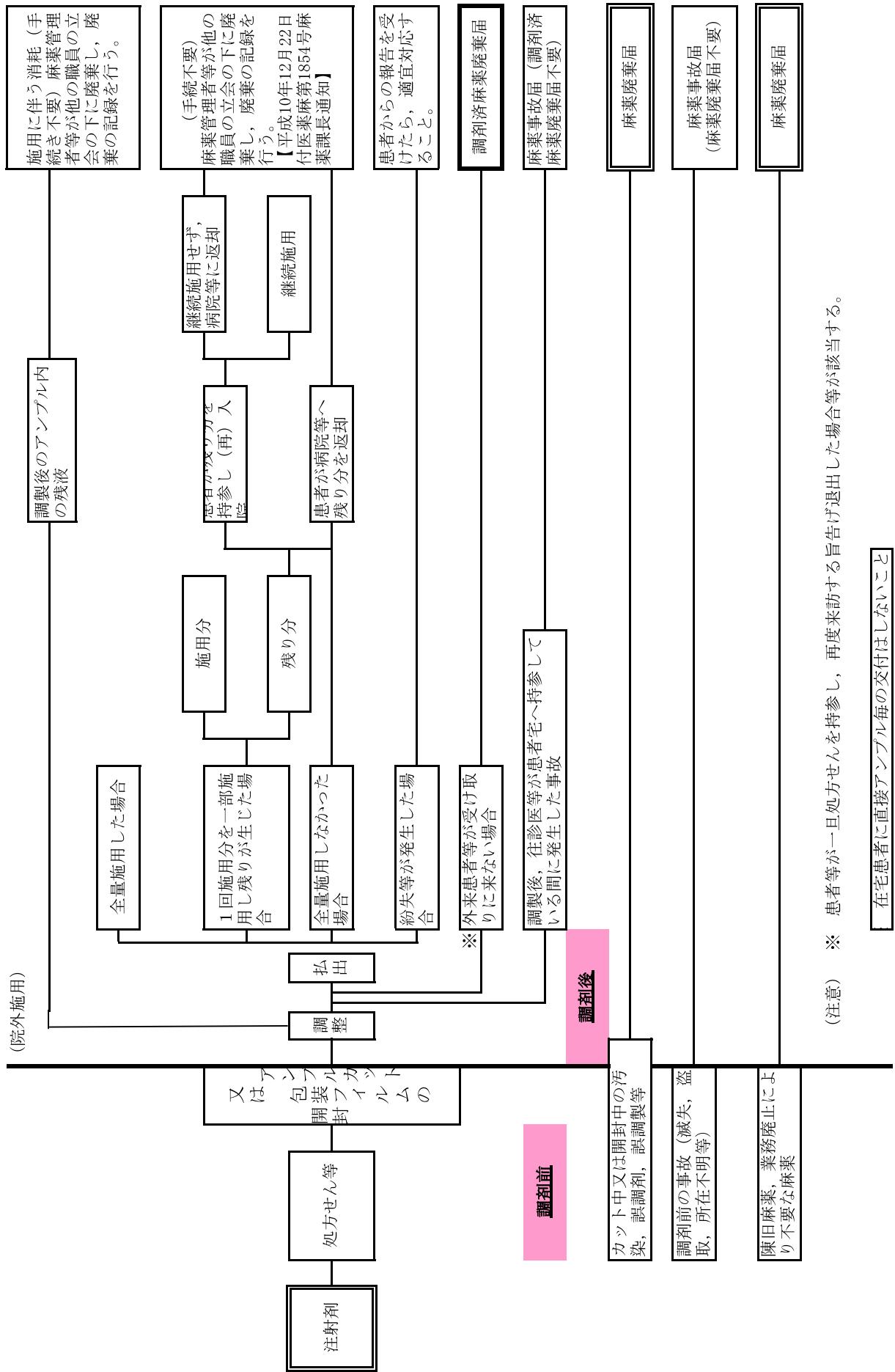
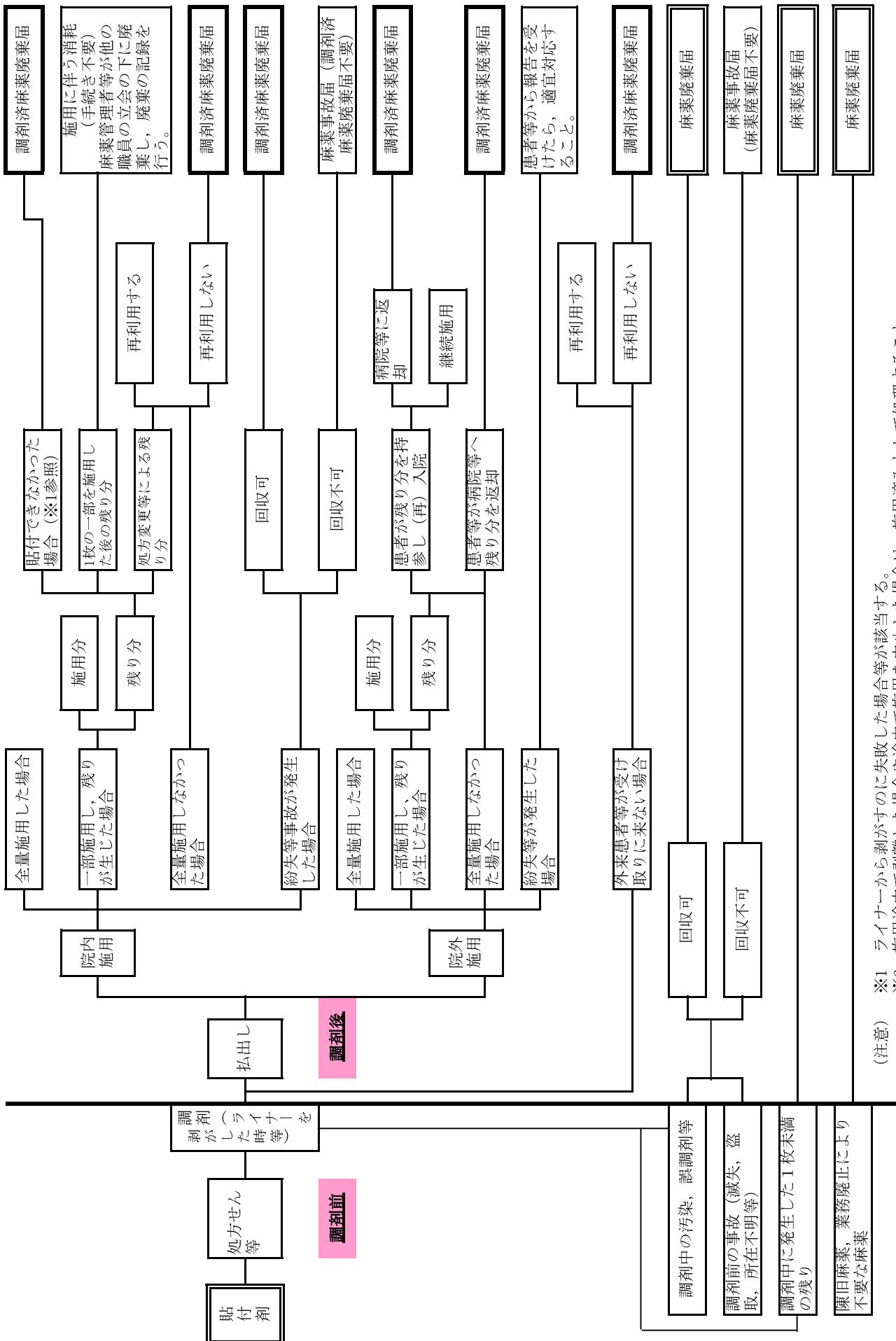


図4 貼付剤の場合



(注意)

*1 ライナーから剥がすのに失敗した場合は該当する。
*2 施用途中で剥離した場合や途中で施用を中止した場合は、施用済みとして処理すること。

*3 院内で施用済みの貼付剤（上記※2の場合も含む。）については、麻薬管理者が全て回収し適切に廃棄すること。

図5 その他の場合（液剤、散剤等）

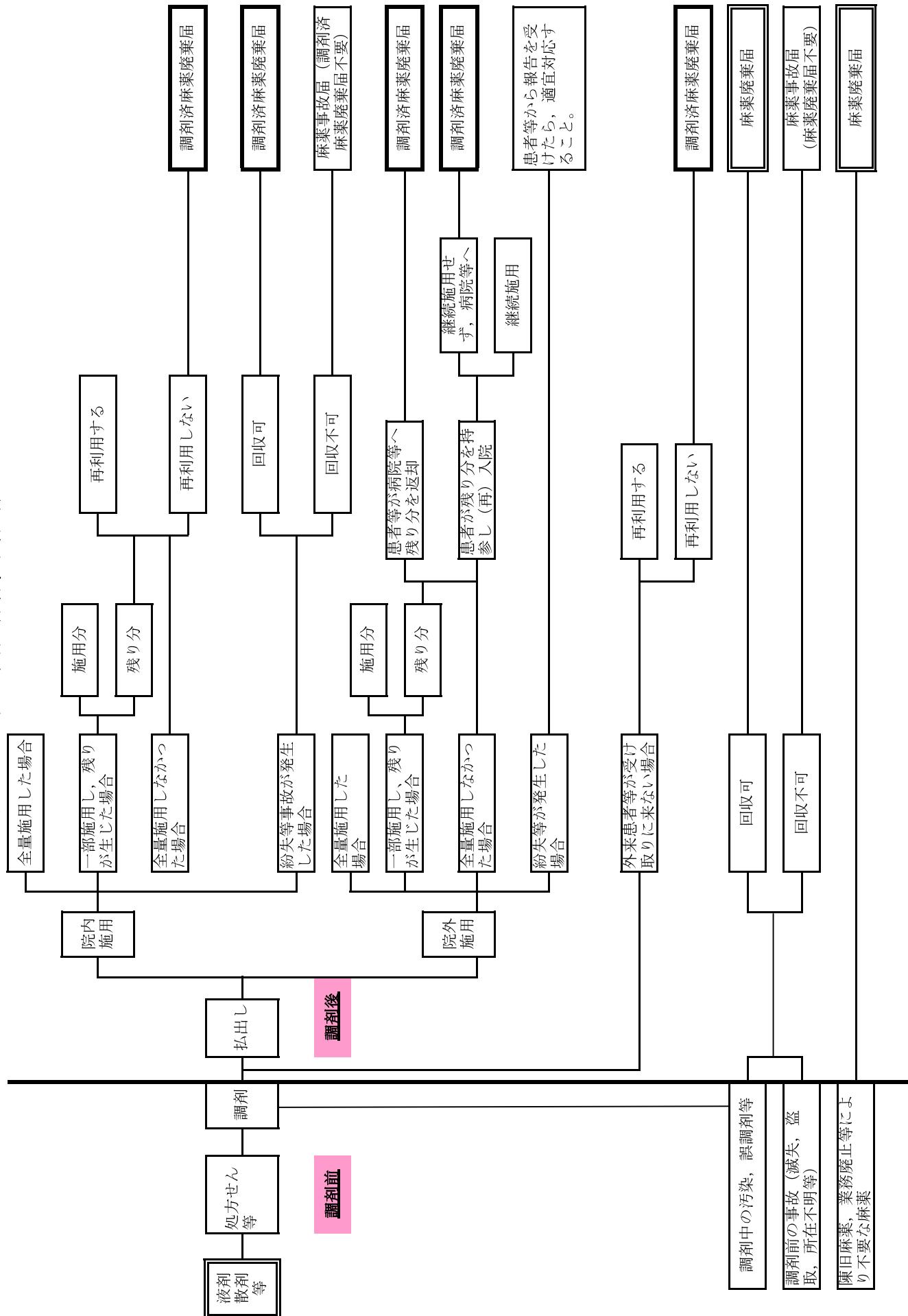


図6 バイアル製剤の場合

